

浮気チェックシート

浮気をしている人のよくある特徴をまとめています。

また、危険度をわかりやすく示しています。この危険度は、平成 18 年度の浮気調査における 110 ケースのデータを集計し、その浮気調査の対象者に対する共通性から算出しています。

主な計算方法は、110 ケースの内、3 分の 2 以上を危険度 5（110 ケース中 73 ケース以上の共通事項）、半数以上を危険度 4（110 ケース中 55 ケース以上）、7 分の 3 以上を危険度 3（110 ケース中 47 ケース以上）、7 分の 2 以上を危険度 2（110 ケース中 31 ケース以上）、7 分の 1 以上を危険度 1（110 ケース中 15 ケース以上）としています。

この浮気チェックシートでは、危険度 3 以上のものを記載しています。

携帯電話を肌身離さず持っている（危険度 5）

[解説]

浮気・不倫の多くは連絡手段を携帯電話で行っています。携帯電話の次に多いのが、メールやチャットです。つまり、携帯電話には個人の秘密が大量に保管されている事になります。ですから、臭いもには蓋をするように、マズイ情報が入っている携帯電話を隠すようになるのです。ただし、個人情報の保護が問題となっている昨今、携帯電話に簡易の暗証ロックをかける事は一般的であると考えられますから、携帯にロックが掛かっているだけで、浮気をしていると判断するのは時期尚早です。

金遣いが荒くなった（危険度 3）

[解説]

主に男性は浮気不倫を始めると、金遣いが荒くなってきます。また女性の場合もホストクラブに、はまったり、年下の男性と付き合うようになると金遣いが荒くなります。

もしも、疑わしい場合は、レシートなどを確認してみましょう。飲食店のレシートには、テーブルに何人座ったかなどの情報が記載されている事が多いので、頼んだ商品などを推理して状況を把握する事が可能です。

身の回りをいつも以上に気にするようになった（危険度 3）

[解説]

人は恋をすると、いかに自分を良く見せるかという事が気になります。そのため、多少のオシャレをするようになるのです。中には全く無頓着という人もいますが、非常に稀です。例えば、中年男性が加齢臭を異常に気にするようになったり、パンツを気にしたり、女性の化粧が厚くなったり、香水が多少きつくなったりします。

連絡のつかない時間がある（危険度 4）

[解説]

浮気は即席ラーメンのようにすぐできるわけではありませんから、それなりの期間を要します。その間、やはりバレテはいけないわけですから、連絡が取れなくなるのです。主に男性の場合は、携帯の電源を落としてしまう事が多いようです。女性の場合は、バイブなどにして電話やメールは届きますが、その間、電話などに応答しない事が多いようです。

出張や飲み会などの機会が増えた（危険度 5）

[解説]

出張や飲み会、同窓会など、何かと理由をつけて浮気をするというのが通常です。出張に行く割には荷物が少なかったり、お友達とお茶会に行く割には化粧が濃かったり、勝負服を身に着けていたりする場合は、浮気相手とあっている可能性が高いと考えられます。中には、ゴルフに行くといって、ゴルフ道具を持っていかなかったツワモノがいるぐらいです。

カーナビの記録や手帳などの記録を消したり、暗号化している（危険度 5）

[解説]

多くのカーナビは、車が通ったルートに軌跡が残ります。また、予定を手帳などで管理する場合は、日時と何をするかなどのマーク程度は書き込むものです。しかし、こうした跡が残るものは、浮気をしている人にとっては消さなければならない記録です。そのため、浮気をしている人は、浮気を連想させるような記録をできる限り消す傾向にあります。

特定の人物が話題になることが多い（危険度 3）

[解説]

男性の場合は、本来は浮気相手の女性の事を、まるで同性の同僚や部下のように示して話題にする事があります。女性の場合は、主に就業先での話題などで、特定の上司を話題にする事があります。この時、その相手の話をしている様子が楽しそうであり、褒める場合は、その人物との距離が非常に近いと心理学上推測できるのです。そのため、多くの場合は、その話題の人物が浮気相手だった事が後で発覚する事があります。主に浮気をしている対象が女性の場合、この現象は顕著に現れます。